

# 「第4次千葉県食育推進計画（案）」に対する意見と県の考え方

千葉県農林水産部安全農業推進課

- 1 パブリックコメント実施期間 令和4年1月13日（木）～2月6日（日）
- 2 意見提出者数（意見の延べ件数） 5人（9件）
- 3 提出された意見の概要と県の考え方

※提出された意見について、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

また、同内容の意見についてはまとめさせていただきました。

※複数の理由から意見が述べられている場合は、意見の概要を分けて掲載しています。

御意見の概要	県の考え方
<p>地場農産物の活用に加えて、SDGsの観点から、ちばエコ農産物や有機農産物を学校給食に取り入れていくことも明記すべき。</p>	<p>学校給食に使用する食材は、学校の設置者である自治体が食材の供給体制や価格等を総合的に判断し、選定しております。</p> <p>県教育委員会では、地場の有機農産物を給食に活用している、木更津市やいすみ市の事例など、地場産物を利用した献立についてホームページで掲載しており、今後もこうした取組を積極的に情報提供してまいります。</p>
<p>学校給食での地場産物や県産米の活用に加えて、ちばエコ農産物や有機農産物を積極的に取り入れることを明記すべき。</p>	<p>また、学校給食にちばエコ農産物や有機農産物を活用するためには、その安定供給が必要となることから、県では農産物の収量向上に向けた栽培技術や機械導入などを支援しています。</p>
<p>学校給食で有機農産物を使用する割合を目標項目に入れるべき（回数でも、シェアでも金額でも良いので、定量的な目標も欲しい）。</p>	<p>学校給食に使用する食材は、学校の設置者である自治体が食材の供給体制や価格等を総合的に判断し、選定しております。</p> <p>県教育委員会では、地場産物を利用した献立についてホームページで掲載しており、今後もこうした取組を積極的に情報提供してまいります。</p>

御意見の概要	県の考え方
<p>有機農業についての啓発、新規就農者が有機農業に取り組むための支援、千葉県有機農業地の面積を増やしてほしい。全ての学校の給食に有機食材を使えるようになることを目指してほしい。</p>	<p>県では、慣行栽培の農業者を含む幅広い農業者を対象に、有機農業の事例紹介や技術を学ぶための研修会を開催しています。</p> <p>また、有機農業を希望する新規参入者へは、研修先の紹介や就農に必要な資金、農地の確保の相談に当たるなどの支援を行っており、これらの支援により有機農業の取組拡大を進めていきます。</p>
<p>「千産千消」をすすめることに加えて、県内産有機農産物を積極的に給食に取り入れることができるよう、県内の有機農家と連携を進めるとともに、県内有機農家を増やすことに取り組んでほしい。</p>	<p>県では、有機農業を推進する自治体同士の交流を促すとともに、生産者のネットワークと連携しながら、有機農業の取組拡大を進めています。</p>
<p>県が「みどりの食料システム戦略」などでうたわれている、有機農業の拡大など、国の方針にどのように取り組み、市町村の環境整備や食育推進をどのように「支援」するか明記すべき。</p>	<p>第1章の2に関連する計画等として位置づけている「第3次千葉県有機農業推進計画」において、有機農業の取組面積の約800haから約1200haへの拡大などの目標を掲げるとともに、市町村との連携・協力体制の整備、食育活動の場を活用した消費者等の有機農業への理解の増進を位置付けています。「第4次千葉県食育推進計画」と連携し有機農業の推進に取り組んでいきます。</p>
<p>各世代の中に、歯・口腔の健康維持が位置づけられていることに賛同。</p> <p>特に30～50代の働き盛りの年代は口腔の健康について配慮することがおろそかになりがちなので、買い物に行く商業施設等と連携して食品売り場・オーラルケア用品売り場で重点的に啓発してほしい。</p>	<p>働き盛りの年代の歯・口腔の健康を推進することは重要であると考えています。</p> <p>県では、オーラルケア製品製造メーカーや、食品関連企業、商業施設等と連携し、歯・口腔ケアの大切さを啓発する取り組みを実施しているところであり、今後も、更なる広報啓発の推進に努めてまいります。</p>

御意見の概要	県の考え方
<p>朝食を欠食する県民の割合（小学5年生）（中学2年生）0%を目指すとするが、家庭以外で朝食を提供する体制を整備する必要もある。16ページに小中学生に対する朝食の指導のことが記載されているが、くれぐれも子どもに対して朝食の重要性を啓発しすぎることがないようにしてほしい。（どんなに子ども自身が朝食を食したいと思っても、親が出してくれなければ、子どもは悲しい思いをするだけになってしまうので）</p>	<p>小中学生の朝食欠食については、御意見のとおり、各家庭が起因しているものもございます。</p> <p>県教育委員会としましても、児童生徒が生涯にわたり健全な食生活を送ることができるよう、引き続き朝食指導を行うとともに、各家庭に対しても啓発していただけるよう、各課や市町村教育委員会等と連携を図ってまいります。</p>
<p>朝食欠食率の削減、フードロスの削減などに関し、各地の草の根活動もご配慮いただきたい。</p>	<p>令和3年3月に「第10次千葉県廃棄物処理計画」の中に位置付ける形で「千葉県食品ロス削減推進計画」を策定し、未利用食品の有効活用の観点から、フードバンク活動への理解促進や、事業者・消費者・行政等とフードバンク活動への理解促進や、事業者・消費者・行政等とフードバンク活動団体との効果的な連携方法等について検討し、取組んでいくこととしています。</p> <p>また、食育サポート企業や食育ボランティア等の関係者とも連携し、推進してまいります。</p>